



ワールドカップ第1戦オムニアム、新ナショナルジャージの盛

シクリスムエコー No.185 2011年11月号



'11-12UCIトラック・ワールドカップ・クラシクス#1... 2
2012年(平成24年)全日本選手権大会等日程(案)... 4
2011年ロード強化指定選手メンバー... 5
2011年ジュニア強化指定選手メンバー... 5
TRACK PARTY... 6



第75回世界室内自転車競技選手権鹿児島大会... 7



第17回日韓対抗学生自転車競技大会... 8
関西シクロクロス野洲ラウンド... 9
ロンドン五輪ロード男子日本代表候補(内定)... 9
第58回全日本プロ選手権自転車競技大会 BMX レース 10
競技大会結果... 10
人事... 10
12月~2012年2月の大会... 11
連盟の動き... 11
日本新記録... 11
2011年全日本 BMX 選手権大会... 12



この広報誌は、競輪の補助金を受けて作成しました。

<http://ringring-keirin.jp>

2011-2012UCIトラック・ワールドカップ・クラシクス# 1

KEIRIN 00
この派遣は競輪の補助金を
受けて実施されました



男子オムニアム・エリミネーションの盛



男子チームスプリントの CC 東京



日本記録を出した女子団体追抜競走



女子チームスプリント



ケイリンの新田

11月3日から6日まで、カザフスタンの首都であるアスタナで、トラックワールドカップ第1戦が行われた。

当初は3日間の予定であったが、ロンドン五輪出場がかかっているため参加者数も多く、木曜日の夕方からの4日間開催となった。

第1日目は団体追抜競走の予選が行われ、日本は女子に加瀬・田畑・上野が出場し日本新記録を達成したものの10位に終わった。

第2日目は男子オムニウムに盛が出場、3種目終了時点で10位をキープ。女子チームスプリントには石井・前田が出場し35秒414が出るが14位に終わる。男子チームスプリントは、河端・中川・坂本のナショナルチームと雨谷・新田・渡邊のシクロチャンネル東京の2チームが出場。CC東京が44秒605で9位、ナショナルチームが45秒993で16位となった。

女子500mTTには前田が出場、35秒492が出るが11位に終わる。女子ポイントレースには田畑が出場、残念ながら落車で途中棄権した。

第3日目、女子オムニウム予選には加瀬が出場。途中3ポイントを取りながらも最終周に落車、予選を7位で通過したが、怪我のため本戦には出場しなかった。

女子スプリント予選には前田と石井が出場したが共に敗退。男子ケイリンには新田と中川が出場、中川は予選で落車するも敗者復活戦へ出場したが敗退。新田は2回戦へ進むが6位で7～12位決定戦へ廻り、11位が決定。また、男子オムニアムの盛は最終14位が決定。

最終日、男子スプリントに渡邊、中川、河端、雨谷が出場するが、予選を通過したのは、渡邊のみ。その渡邊も1/8決勝、B1/4決勝で共に敗れ、15位が確定。女子ケイリンの石井・前田は共に1回戦で敗退した。

全4戦で行われるワールドカップ、第2戦はコロンビアのカリで11月30日から12月3日に開催される。



男子チームスプリントのナショナルチーム



女子ポイントレースの田畑



女子オムニウム予選の加瀬



男子ケイリンの中川



男子スプリントの渡邊

【競技結果】

2011-2012UCIトラック・ワールドカップ・クラシクス#1
(2011/11/3-6 ガザフスタン・アスタナ)

男子スプリント

- 1 HOY Chris SKY TRACK
- 2 DMITRIEV Denis MOSCOW TRACK
- 3 PERKINS Shane JAYCO-AIS
- 15 渡邊 一成 JPCA JPCU 福島
- 21 中川誠一郎 JPCA JPCU 熊本
- 23 河端 朋之 JPCA JPCU 岡山
- 47 雨谷 一樹 JPCA JPCU 栃木

男子ケイリン

- 1 VOLIKAKIS Christosギリシャ
- 2 HOY Chris SKY TRACK
- 3 BORISOV Sergey MOSCOW TRACK
- 11 新田 祐大 JPCA JPCU 福島
- 13 中川誠一郎 JPCA JPCU 熊本

男子ホムニアム

- 1 KLUGE Roger ドイツ 24p
- 2 CHO Ho Sung 大韓民国 34p
- 3 VIVIANI Elia イタリア 36p
- 14 盛 一大 愛知 愛三工業レーシング 81p

男子チームスプリント

- 1 ERDGAS.2012 43.474
- 2 JAYCO-AIS 43.661
- 3 フランス 43.757
- 9 シロチャンネル東京 雨谷・新田・渡邊 44.605
- 16 日本 河端・中川・坂本 45.993

女子500mタイムトライアル

- 1 PANARINA Olga ベラルーシ 33.472
- 2 CLAIR Sandie フランス 33.950
- 3 WELTE Miriam ドイツ 34.172
- 11 前田佳代乃 鹿児島 鹿屋体育大 35.492

女子スプリント

- 1 SHULIKA Lyubov ウクライナ
- 2 MEARES Anna オーストラリア
- 3 PANARINA Olga ベラルーシ
- 32 石井 寛子 茨城
- 33 前田佳代乃 鹿児島 鹿屋体育大学

女子ケイリン

- 1 SANCHEZ Clara フランス
- 2 VOGEL Kristina ドイツ
- 3 GNIDENKO Ekaterina ロシア
- 25 前田佳代乃 鹿児島 鹿屋体育大学
- 31 石井 寛子 茨城

女子ポイントレース

- 1 NA Ahreum 韓国 31p
- 2 POHL Stephanie ドイツ 30p
- 3 CECCHINI Elena イタリア 29p
- 田畑 真紀 JPCA 谷手 DNF

女子ホムニアム

- 1 ROMANYUTA Evgeniya RUSVELO
- 2 KING Dani イギリス
- 3 HUANG Li 中国
- 加瀬加奈子 新潟 日本競輪学校 DNS

女子チームスプリント

- 1 オーストラリア 32.938
- 2 ウクライナ 33.313
- 3 ドイツ 33.388
- 14 日本 石井・前田 35.414

女子団体追抜競走

- 1 フランス 3:21.550
- 2 中国 3:22.079
- 3 ドイツ 3:21.701
- 10 日本 加瀬・田畑・上野 3:34.704

※ 日本選手出場種目のみ記載

2012年(平成24年)全日本選手権大会等 日程(案)

全日本選手権大会

ロードレース	岩手・八幡平	4月28-29日
ロードタイムトライアル	秋田・大瀧村	6月17日
トラックレース	伊豆ベロドローム	8月24-26日(予定)
アマチュア・トラックレース	長崎・佐世保	5月26-27日(予定)
JOCカップ・トラックレース	伊豆ベロドローム(予定)	8月11-12日(予定)
プロ・トラックレース	グリーンドーム前橋	5月14日
MTB	未定	6月2-3日
シクロクロス	未定	12月9日
BMX	静岡・CSC	10月後半予定

JCF主催普及大会

チャレンジ・サイクル・ロード	静岡・CSC5km	4月8日
チャレンジ・サイクル・トラック	場所未定	4月22日
国民体育大会	岐阜	10月3-7日
都道府県対抗	東京	9月7-9日
スポーツマスターズ	高知	10月21日

(2011/11/16 現在)

2011年ロード強化指定選手メンバー

《男子エリート》強化指定選手

福島 晋一 (JPCA・トレンガヌ プロアジア サイクリングチーム)・鈴木 真理 (JPCA・シマノレーシング)・宮澤 崇史 (JPCA・ファルネーゼピニ・ネーリソットーリ)
 綾部 勇成 (JPCA・愛三工業レーシングチーム)・西谷 泰治 (愛知・愛三工業レーシングチーム)・井上 和郎 (福井・チームブリヂストン・アンカー)
 清水 都貴 (JPCA・チームブリヂストン・アンカー)・佐野 淳哉 (埼玉・ダンジェロ アンティヌッチ・NIPPO)・品川 真寛 (愛知・愛三工業レーシングチーム)
 盛 一大 (愛知・愛三工業レーシングチーム)・別府 史之 (JPCA・チームラジオシャック)・土井 雪広 (山形・スキル・シマノ)
 増田 成幸 (栃木・宇都宮 BLITZEN)・新城 幸也 (沖縄・チームヨーロッパ)・中島 康晴 (福井・愛三工業レーシングチーム)
 畑中 勇介 (東京・シマノレーシング)・鈴木 謙 (神奈川・シマノレーシング)・西園 良太 (鹿児島・シマノレーシング)
 福田 真平 (愛知・愛三工業レーシングチーム)・伊丹 健治 (JPCA・チームブリヂストン・アンカー)

《男子U23》強化指定選手

青柳 憲輝 (栃木・シマノレーシング)・吉田 隼人 (奈良・鹿屋体育大学)・窪木 一茂 (福島・日本大学)・中田 匠 (岩手・日本大学)
 早川 朋宏 (愛知・法政大学)・堀内 俊介 (神奈川・中央大学)・中尾 佳祐 (埼玉・順天堂大学)・逢坂 弘紀 (青森・日本大学)
 木下 智裕 (神奈川・エカース)・雨宮 正樹 (山梨・日本大学)・榊原 健一 (愛知・中京大学)・山本 元喜 (奈良・鹿屋体育大学)
 木村 圭佑 (滋賀・京都産業大学)・山本 隼 (山梨・中央大学)

《女子》強化指定選手

森本 朱美 (鳥取・パールイズミ・スミタ・ラパネロ)・西 加南子 (千葉・LUMINARIA)・田畑 真紀 (JPCA・ダイチ)
 片山 梨絵 (神奈川・SPECIALIZED)・豊岡 英子 (大阪・パナソニックレディーズ)・金子 広美 (東京・イナーメ・アイランド信濃山形)
 智野 真央 (東京・MUUR ZERO)・牧瀬 翼 (佐賀・MUUR ZERO)・萩原麻由子 (和歌山・サイクルベースあさひレーシング)
 針谷千紗子 (栃木・サイクルベースあさひレーシング)・明珍 裕子 (岐阜・朝日大学)・木村 亜美 (香川・鹿屋体育大学)
 上野みなみ (青森・鹿屋体育大学)

(2011/11/17 現在)

2011年ジュニア(トラック・ロード)強化指定選手メンバー

《男子トラック》

強化指定A 谷口 遼平 (三重・朝明高校)・高士 拓也 (三重・朝明高校)・橋本 瑠偉 (佐賀・龍谷高校)
強化指定B 入佐 直希 (鹿児島・南大隅高校)・進藤 拓実 (秋田・大曲農業高校)・伊藤 和輝 (東京・昭和第一学園高校)
 小林 泰正 (群馬・高崎工業高校)・清水 裕友 (山口・誠英高校)・渡邊 雄太 (静岡・星陵高校)
 鈴木 康平 (静岡・星陵高校)・瓜生 嵩智 (熊本・九州学院高校)・菊山 将志 (東京・昭和第一学園高校)

《男子ロード》

強化指定A 徳田 優 (京都・北桑田高校)・西村 大輝 (東京・昭和第一学園高校)
強化指定B 内野 直也 (埼玉・湘南ベルマーレ)・馬渡 伸弥 (東京・昭和第一学園高校)・小林 泰正 (群馬・高崎工業高校)
 広瀬 樹 (神奈川・横浜高校)・小橋 勇利 (愛媛・松山工業高校)・城田 大和 (沖縄・北中城高校)
 横山 航太 (長野・篠ノ井高校)

《女子》

強化指定B 細田 愛未 (埼玉・川越工業高校)・三宅 玲奈 (岡山・岡山工業高校)・元砂七夕美 (奈良・榛生昇陽高校)

※ 強化指定選手は、随時入れ替え・追加・解除を行なうものとする



TRACK PARTY

KEIRIN 
この事業は競輪の補助金を受けて実施されました

完成したばかりの伊豆ベロドロームで10月29日、日本初のトラックパーティが開催された。海外からの招待選手と日本のトップ選手が参加するなか、イタリアからはチッポリーニもゲストで登場、エキシビションのチームスプリントに参加したほか、海外で活躍する日本のトップロードプロもケイリンなどに参加した。
初めての試みとして、アリーナには特別席が設定され、食事をしながらワインを飲みながらの観戦が楽しまれていた。



男子ロードプロ選手



男子ケイリン



男子チームスプリント、先頭はチッポリーニ

エネルギー補給からエネルギー変換までトータルにサポート！アスリートと共に開発したエネルギー補給食と内臓力をあげるサプリメント



メイトンサイクルチャージ



メイトンサイクルチャージカフェインプラス



メイトントップコンディション

ラムネタイプのライトな補給食・ぶどう糖ラムネ



梅塩



梅肉エキス



カフェイン



生姜



Meitan
SuperAthlete

株式会社 梅丹本舗
スーパーアスリート事業部
大阪府摂津市学園町 1-1-26

梅丹本舗は、JCF日本自転車競技連盟のオフィシャルスポンサーです。日本ナショナルチームを応援しています。

第75回世界室内自転車競技選手権鹿児島大会

サイクルサッカーはグループB 2位



サイクルサッカー、対マレーシア戦

2001年以来の日本開催となる世界室内自転車競技選手権大会が、鹿児島県・鹿児島アリーナにおいて11月4～6日の日程で開催された。

【サイクルサッカー】

2009年以來のAグループ復帰を狙うサイクルサッカー日本チームは、世界戦4度目の出場となる木下直也・松田鋼（松田は通算8回目）がグループBにエントリー。このペアで2007年には入替戦を勝利してのグループA進出、また翌2008年にはグループAで待望の1勝を飾っており、グループA復帰に向け期待は大いに高まった。

日本チームは地元観客の大声援も後押しして大会初日に香港、マレーシア、カナダを撃破。グループB優勝を賭けて大会2日目にルーマニアと対戦した。前半を1-2とリードされて迎えた後半2分過ぎ、日本チームは木下のシュートで追いつくとその後は一進一退の攻防が続く。日本チームは再三ルーマニアゴールに詰め寄るが、得点に結びつかず勝ち越せない。逆に後半残り約2分、ルーマニアに勝ち越しゴールを奪われると、終了間際にもカウンターロングシュートを決められ、グループB 2位となり、入替戦に進出できなかった。日本チームは後半約3分に得たペナルティキックのチャンスを、キーパーの攻守に阻まれて勝ち越せなかったのが痛かった。

「前半1-2とリードされたが後半に追いつく自信があった。実際追いつくことができたが、そこからペースを

掴むことができなかった（木下）」

「大会関係者のサポートにより最高のコンディションで大会に臨むことができた。残念ながら負けてしまったが、観客にエキサイティングな試合を見せることができたのは良かったと思う（松田）」

ルーマニアは入替戦でグループA 6位のベルギーと対戦、試合はPK戦にもつれて激しいセーブ合戦を繰り広げたが、ベルギーがPKを制してグループA 残留を決めた。

グループAはオーストリアが世界選初優勝を飾った。スイスは予選リーグでドイツ、準決勝でオーストリアに勝利したが、決勝戦で今大会3回目の対戦となるオーストリアに3-4で惜敗し2位、ドイツが3位となった。

【サイクルフィギュア】

サイクルフィギュア男子シングルはドイツのSchnabelが、世界選2年連続しての世界記録更新となる208.91で優勝し大会4連覇を飾った。Schnabelはミスの少ない演技と評価点加算により、演技終了30秒前まで持ち点を上回る得点をキープする、圧倒的な演技を見せた。女子シングルはドイツのHein Corinnaが2年ぶりの優勝、ドイツ勢は他の3種目も制し、フィギュア全5種目で金メダルを獲得した。

大会関係者の努力もあり、2日目こそやや少なかったものの大会初日と最終日には、多くの観客が会場の鹿児島アリーナに集まった。世界レベル

の技を多くの人たち、特にジュニア世代に見てもらうことで室内自転車競技の普及に繋がれば、世界選手権の日本開催が更に意義あるものとなる。

（村田 隆宣）



サイクルフィギュア・ペアオープン

【競技結果】

第75回世界室内自転車競技選手権鹿児島大会 (2011/11/4-6 鹿児島・鹿児島アリーナ)

サイクルサッカー グループ A

- 1 オーストリア
- 2 スイス
- 3 ドイツ

サイクルサッカー グループ B

- 1 ルーマニア
- 2 日本 木下直也・松田 鋼
- 3 香港

サイクルサッカー グループ A・B 入替戦

- | | | |
|---|-------|-------|
| 1 | ベルギー | 3+PK2 |
| 2 | ルーマニア | 3+PK1 |

サイクルフィギュア男子シングル

- | | | | |
|----|------------------|-----|--------|
| 1 | Schnabel David | GER | 208.91 |
| 2 | Blab Florian | GER | 205.17 |
| 3 | Wong Hang Cheong | MAC | 165.31 |
| 10 | 芦田 史朗 | | 94.07 |
| 13 | 芝山 耕輔 | | 43.12 |

サイクルフィギュア女子シングル

- | | | | |
|----|------------------|-----|--------|
| 1 | Hein Corinna | GER | 171.75 |
| 2 | Beck Sandra | GER | 169.71 |
| 3 | Lebankova Nikola | CZE | 156.85 |
| 13 | 堀井 和美 | JPN | 60.10 |
| 14 | 佐藤 風沙 | JPN | 52.26 |

サイクルフィギュアペアオープン

- | | | | |
|---|------------------------------------|-----|--------|
| 1 | Bassmann Luisa / Bassmann Benedikt | GER | 148.08 |
| 4 | 堀井 和美 / 芦田 史朗 | JPN | 34.23 |

サイクルフィギュア女子ペア

- | | | | |
|---|--|-----|--------|
| 1 | Schultheis Katrin / Sprinkmeier Sandra | GER | 160.43 |
| 2 | Soika Jasmin / Wurster Katharina | GER | 157.45 |
| 3 | Petricikova Andrea / Valesova Iva | CZE | 106.54 |

サイクルフィギュア女子4人組

- | | | |
|---|-----|--------|
| 1 | ドイツ | 189.74 |
| 2 | スイス | 167.69 |
| 3 | ロシア | 112.76 |

第17回日韓対抗学生自転車競技大会

昨年の雪辱を果たし、日本が総合優勝!



本年度17回目となる日韓対抗学生自転車競技大会が、11月4日・5日に大韓民国・全羅南道羅州市で行われた。日本選手団は15名の選手に6名の監督・スタッフを加えた21名で2日午前羽田空港を出発、無事金浦空港に到着し、韓国車連の出迎えを受けたのち、バスで羅州市へと移動した。

羅州市自転車競技場は周長333.33mのコンクリート造りのバンクで、曲線のカントが日本の競技場のように滑らかではないため、日本選手は対応に非常に苦慮していた。夕方に監督会議が行われ、5日に降雨により走路を使用できない可能性があるため、スプリントの決勝種目以外のすべての種目を大会初日である4日に行う事が決まった。練習中も小雨が降る時間があつたが、その際にも走路は非常に滑りやすく、降雨の際に競技を行う事は不可能であった。

4日の大会初日はまずスプリントの予選が行われ、高校の部では野原が11秒128で1位となったが、その他の選手は慣れない走路に苦戦し、韓国チームが1、2位を独占する結果となった。続いて個人追い抜きの決勝が行われ、高校の部では橋本が3分40秒388で2位の韓国選手に10秒差をつけて優勝、大学、女子の部でもそれぞれ2位、3位を確保した。スプリント準決勝は大学の部で末木が決勝に進出。日本選手同士の対戦となった高校の部では、野原が川口を破り決勝に進出した。開会式を挟んだ後、タイムトライアルは、大学の部で末木、佐々木が1位2位を獲得、高校の部では奥村が2位、川口が3位となった。女子では三宅が3位に入った。昼食後にチーム種目が行われ、佐々木、長瀬、末木、榊原のメンバーで臨んだ団体抜は、韓国チームが分解しかけた事もあり、追い抜いて勝利を収めた。男子チームスプリントではスタートが若干合わなかったため、1走川口、2走野原までは僅差でリードを許すも、3走奥村が逆転し勝利を収めた。小島、廣本的女子チームスプリントは韓国チームに及ばず2位となった。

チーム種目が終了したのち、ケイリン決勝が行われた。日本は新納、佐々木、奥村の布陣で、作戦通り奥村が先行し番手に新納がつく展開となるが、最終周回2コーナーで韓国選手が捲ろうとした際に落車事

故が発生。新納、奥村、韓国選手の3名が転倒し、競技場内に待機していた救急車で病院に搬送された。新納は手指の骨折、奥村は擦過傷と打撲のため、その日の晩入院し翌日のスプリント種目を欠場することとなった。ケイリンの結果は佐々木が2位となった。走路の清掃をした後、女子ポイントレースが行われた。序盤の3つのポイント周回を塚越が1位通過すると、残り30周前後から塚越、中村と韓国選手による3名の逃げが発生。集団に追い付くまでに韓国選手が1位通過を重ねて塚越を追い上げるが、塚越は2位通過を確実に積み重ねて逃げ切りを図り、最終的には4ポイント差で塚越が優勝、中村が3位となった。男子のポイントレースでは、佐々木、橋本、榊原、長瀬らが入れ替わり逃げる展開でポイントを重ねていった。次々と選手が降ろされていき、残り15周回前後では佐々木、橋本、長瀬、榊原と韓国選手1名の状態となった。結果は優勝橋本、2位榊原、3位佐々木と表彰台を独占した。この結果により大きく対抗得点を稼いでおり、この時点で日本の勝利はほとんど確定していた。

5日は前夜の降雨の影響で、1時間30分ほど繰り下げてスプリント種目の決勝と3-4位決定戦が行われた。大学の部では末木が優勝を収めた。高校の部では野原、川口がそれぞれ1位と3位を獲得し、対抗得点を稼ぐ事が出来た。女子では小島が3位となった。対抗得点は83対70で日本が昨年の雪辱を果たし、優勝杯を持ち帰ることとなった。

競技終了後閉会式が行われ、最優秀監督に大学監督の若杉茂樹、優秀選手には末木浩二がそれぞれ選出された。5日の夜には送別宴が行われた。

今大会は、韓国選手が重いギアをかけており、後半に疲労する事を考慮して軽いギアを選択した指導陣の戦略と、慣れない走路に苦労しながらも懸命に戦った選手の力が組み合わさっての勝利であった。

(総務 河西 勇太郎)

【競技結果】

第17回日韓対抗学生自転車競技大会 (2011/11/4-5 大韓民国・羅州)

男子高校生スプリント

- 1 野原 雅也 JPN 春江工業高校
- 2 KWON JIN WAN 富川高等学校
- 3 川口 聖二 JPN 岐阜第一高校

男子高校生 1km タイムトライアル

- 1 KANG SUK HO 全羅高等学1:09.272
- 2 奥村 諭志 JPN 岡山工業高1:09.799
- 3 川口 聖二 JPN 岐阜第一高1:11.086

男子高校生 3km 個人追抜競走

- 1 橋本 英也 JPN 岐南工業高3:40.388
- 2 SIN DONG IN 全羅高校 3:50.610
- 3 PARK KYOUNG HOO 木川高校 3:52.870
- 4 堀 兼壽 JPN 岐阜第一高4:03.069

男子高校生チームスプリント

- 1 日本 川口・野原・奥村 1:06.950
- 2 韓国 1:07.124

男子大学生スプリント

- 1 末木 浩二 JPN 日本大学
- 2 HONG EU CHUL 成和大学
- 3 KIM TAE HOON 昌原大学
- 4 新納 大樹 JPN 鹿屋体育大学

男子大学生 1km タイムトライアル

- 1 末木 浩二 JPN 日本大学 1:09.662
- 2 佐々木 龍 JPN 早稲田大学1:10.669
- 3 HONG EU CHUL 成和大学 1:11.625

男子大学生 4km 個人追抜競走

- 1 KIM HONG KI 韓国国際大4:57.355
- 2 長瀬 幸治 JPN 鹿屋体育大4:58.662
- 3 佐々木 龍 JPN 早稲田大学5:07.433

男子大学生 4km 団体追抜競走

- 1 日本 佐々木・長瀬・末木・榊原 4:43.429
- 2 韓国 5:03.099

男子ケイリン

- 1 KIM TAE HOON 昌原大学校
- 2 佐々木 龍 JPN 早稲田大学
- 3 HONG EU CHUL 成和大学
- 新納 大樹 JPN 鹿屋体育大学 DNF
- 奥村 諭志 JPN 岡山工業高校 DNF

男子ポイントレース (24Km)

- 1 橋本 英也 JPN 岐南工業高校 32p
- 2 榊原 健一 JPN 中京大学 24p
- 3 佐々木 龍 JPN 早稲田大学 15p
- 4 長瀬 幸治 JPN 鹿屋体育大学 15p
- 末木 浩二 JPN 日本大学 DNF
- 川口 聖二 JPN 岐阜第一高校 DNF
- 堀 兼壽 JPN 岐阜第一高校 DNF
- 野原 雅也 JPN 春江工業高校 DNF

女子 500m タイムトライアル

- 1 CHOI YOUNG EUN 全南美容高 39.024
- 2 AN HYE JI 榮州東山高 39.463
- 3 三宅 玲奈 JPN 岡山工業高 40.069
- 4 小島 睿子 JPN 日本体育大 40.150

女子スプリント

- 1 CHOI YOUNG EUN 全南美容高校
- 2 PARK MI NAM 襄陽女子高校
- 3 小島 睿子 JPN 日本体育大学
- 4 廣本 茜莉 JPN 環太平洋大学

女子 2km 個人追抜競走

- 1 KIM SOL A 漣川高校 2:42.872
- 2 塚越さくら JPN 鹿屋体大 2:43.600
- 3 中村 友香 JPN 奈良北高 2:54.402

女子ポイントレース (20Km)

- 1 塚越さくら JPN 鹿屋体育大学 52p
- 2 KIM SOL A 漣川高等学校 48p
- 3 中村 友香 JPN 奈良北高校 33p
- 4 三宅 玲奈 JPN 岡山工業高校 12p
- 7 小島 睿子 JPN 日本体育大学 2p
- 廣本 茜莉 JPN 環太平洋大学 DNF

女子チームスプリント

- 1 韓国 49.985
- 2 日本 小島・廣本 51.991

対抗得点

- 1 日本 83点
- 2 韓国 70点

関西シクロクロス野洲ラウンド

男子は辻浦、女子は豊岡を抑え宮内が優勝!



エリート女子の宮内



エリート男子の辻浦

【競技結果】

関西シクロクロス野洲ラウンド (UCIクラス2)
(2011/11/20 滋賀・野洲)

エリート男子 (23.9km)

- 1 辻浦 圭一 ブリヂストンアンカー 1:02:00
- 2 竹之内 悠 Eurasia-Fondriest +0:14
- 3 小坂 正則 スワレーシングチーム +2:04

エリート女子 (13.9km)

- 1 宮内佐季子 CLUB viento 44:17
- 2 豊岡 英子 パナソニックレーイス +0:25
- 3 福本 千佳 シバノ同志社大学 +1:03

第30回オリンピック競技大会 (2012 / ロンドン) 自転車競技ロード男子日本代表候補 (内定)

10月29日(土)トラックパーティの開催前、同会場においてロンドン五輪男子ロード日本代表候補選手内定記者会見が行われ、別府史之選手の内定が発表された。

【内定選手】

別府 史之 ベっぷ ふみゆき
1983年4月10日生まれ
神奈川県出身
所属:
JPCA・チームラジオシャック

大会名
第30回オリンピック競技大会
(2012 / ロンドン)
自転車競技・男子個人ロードレース
大会日 2012年7月28日(土)
場所 イギリス・ロンドン The Mall



左から、高橋コーチ、別府選手、松本総監督、中野強化委員長

別府選手のコメント

「まずは、オリンピック代表の内定をもらったことに本当に感謝しています。松本監督のもと、世界と戦う体制の整った日本ナショナルチームで走れることにワクワクしています。この時期に出場が決まったことにより来シーズンのレーススケジュールにオリンピックを入れて考えることができます。長期的なスケジュールを組んで、結果を残すためのコンディション作りをしていきます。トップカテゴリーで7シーズン走ってきた経験を活かして、良い結果に結びつけたいと思っています。応援よろしくをお願いします。」

※ 男子ロード出場枠は、個人ロード2枠、個人TT1枠を獲得しています。(ただし、個人TTは個人ロードエントリー者から出場) 残り1名については2012年全日本ロード後、JCF独自ポイントランキングに基づき選考されます。

なお、女子ロードについては5月31日付のUCIランキングにより参加枠の割り当てがあります。

第58回全日本プロ選手権自転車競技大会 BMXレース



大阪の古性が初優勝!



中央は優勝の古性



【競技結果】

第58回全日本プロ選手権自転車競技大会 BMXレース (2011/11/13 静岡・日本CSC)

- 1 古性 優作 JPCA JPCU 大阪
- 2 黒田 淳 JPCA JPCU 岡山
- 3 西岡 拓朗 JPCA JPCU 広島



競技大会結果

大会名、チーム名等については略して記載



第7回全国ジュニア自転車競技大会 (2011/10/30 三重・四日市)

- A-1 高校生男子 (108.0km)**
 - 1 徳田 優 京都 北桑田高校 2:53.04
 - 2 広瀬 樹 神奈川 横浜高校 2:55.45
 - 3 石橋健三朗 広島 広島城北高 2:56.55
- A-2 高校生男子 (54.0km)**
 - 1 松下 稔 京都 北桑田高校 1:29.01
 - 2 堀田 海人 三重 朝明高校 1:30.21
 - 3 下岡 真也 三重 朝明高校 1:30.21
- A-3 高校生女子 (36.0km)**
 - 1 元砂七夕美 奈良 榛生昇陽高 1:06.44
 - 2 黒田 彩夏 兵庫 明石西高校 1:06.44
 - 3 坂口 聖香 兵庫 播磨南高校 1:06.45

- B-1 小学校 1・2 年生男子 (5.0km)**
 - 1 細谷 響貴 埼玉 与野西北小学 9.53
- B-2 小学校 1・2 年生女子 (2.6km)**
 - 1 水谷 涼花 三重 八郷小学校 5.55
- B-3 小学校 3・4 年生男子 (9.2km)**
 - 1 古林 一夢 石川 南小立野小 17.26
- B-4 小学校 3・4 年生女子 (9.2km)**
 - 1 三宅 優奈 岡山 荘内小学校 19.20
- B-5 小学校 5・6 年生男子 (18.2km)**
 - 1 蠣崎 優仁 静岡 第三小学校 32.02
- B-6 小学校 5・6 年生女子 (9.2km)**
 - 1 石上 夢乃 神奈川 釜利谷小学 16.43
- B-7 中学生男子 (36.0km)**
 - 1 小山 貴大 群馬 旭中学校 56.32
- B-8 中学生女子 (18.0km)**
 - 1 坂口 楓華 兵庫 稲美中学校 33.38
- B-9 高校生男子 (36.0km)**
 - 1 比護 任 大阪 大阪高校 59.32
- B-10 高校生女子 (27.0km)**
 - 1 木下 涼風 東京 東京家大付 51.47
- C-1 小学校 1・2 年生男子 (2.6km)**
 - 1 村山 喜一 東京 板橋第四小学 6.27
- C-2 小学校 1・2 年生女子 (2.6km)**
 - 1 大平 聖華 滋賀 葉山小学校 8.34
- C-3 小学校 3・4 年生男子 (9.2km)**
 - 1 佐橋 大樹 滋賀 晴嵐小学校 24.39
- C-4 小学校 3・4 年生女子 (9.2km)**
 - 1 水谷 未来 三重 在良小学校 26.55
- C-5 小学校 5・6 年生男子 (9.2km)**
 - 1 松田 裕星 三重 桜小学校 26.01
- M-1 未就学児 (3歳以上) 29名完走**
タイム計測のみで順位はつけず。

ツール・ド・おきなわ2011 (2011/11/12-13 沖縄・名護他)

- 個人総合時間賞**
 - 1 盛 一大 愛知 愛三工業 5:33:10
 - 2 西谷 泰治 愛知 愛三工業 5:33:12
 - 3 佐野 淳哉 埼玉 コッパ 5:33:12
- 第1ステージ個人TT (1.8km)**
 - 1 PALMER Thomas DPC 2:08.31
 - 2 PHELAN Adam DPC 2:11.68
 - 3 盛 一大 愛知 愛三工業 2:12.45
- 第2ステージロードレース (210km)**
 - 1 畑中 勇介 東京 シノ 5:30:58
 - 2 鈴木 真理 JPCA シノ 5:30:58
 - 3 Mariusz Wiesiak マトリックス 5:30:58
- 個人総合山岳賞**
 - 1 村上 純平 山形 シノ 10p
- 団体総合時間賞**
 - 1 愛三工業レーシングチーム 16:39:37
- 女子国際レース (100km)**
 - 1 HUANG Ho Hsun TPE 3:23:29
 - 2 HSIAO Mei Yu TPE 3:23:29
 - 3 木村 亜美 鹿児島 鹿屋体育大 3:23:29
- ジュニア国際レース (140km)**
 - 1 小橋 勇利 愛媛 ホンジャン飯田 4:10:13
 - 2 紺野 元汰 神奈川 湘南パルマレ 4:10:13
 - 3 HSIEH Cheng Yiang TPE 4:10:13

◆ 人事

11月14日付新任
選手強化部選手強化課
白崎 孝紀

12月～2012年2月の大会

期日	大会名	種目	場所
11月30日～12月3日	2011-2012UCIトラック・ワールドカップ・クラシクス#2	TR	コロンビア/カリ
12月11日	第17回全日本シクロクロス選手権大会	CX	滋賀/高島
16日～18日	ACCトラック・アジアカップ2011マレーシアラウンド	TR	マレーシア/クアラルンプール
17日～18日	第42回全日本室内自転車競技選手権大会	Indoor	滋賀/草津
2012年1月12日～15日	2011-2012UCIトラック・ワールドカップ・クラシクス#3	TR	中国/北京
28日～29日	2012年シクロクロス世界選手権大会	CX	ベルギー/コクサイデ
2月8日～18日	第32回アジア自転車競技選手権大会	TR・RR	マレーシア/クアラルンプール
8日～18日	第19回アジア・ジュニア自転車競技選手権大会	TR・RR	マレーシア/クアラルンプール
16日～19日	2011-2012UCIトラック・ワールドカップ・クラシクス#4	TR	イギリス/ロンドン

連盟の動き (10月下旬～11月下旬)

10月29日	トラックパーティー	於：静岡・伊豆ベロドローム
31日	11-12年トラックワールドカップ第1戦選手団出発	於：カザフスタン・アスタナ 帰国→11/8
11月11日	第1回ジュニアトレーニングキャンプ	於：静岡・日本CSC (~14)
16日	平成23年度第4回総務委員会	於：東京・日本自転車会館3号館3階
19日	日体協公認コーチ養成講習会専門科目講習会	於：静岡・日本CSC、サイテル (~14)
22日	平成23年度第6回広報部会	於：東京・日本自転車会館3号館3階



日本新記録

■ 3km

女子シニア 3分44秒053 加瀬加奈子 (新潟・日本競輪学校) 2011/10/29 静岡・伊豆ベロドローム

■ 3km団体

女子シニア 3分34秒704 日本 (加瀬加奈子・田畑真紀・上野みなみ) 2011/11/03 カザフスタン・アスタナ

■ 女子チーム・スプリント・250m×2

女子シニア 35秒302 強化 (石井寛子・前田佳代乃) 2011/10/29 静岡・伊豆ベロドローム

無限の夢へ、走りだそう。



RING!RING! プロジェクト

競輪の補助事業

2011年全日本BMX選手権大会

落車続出の中、長迫が優勝!



【競技結果】

2011年全日本BMX選手権大会
(2011/10/30 広島・安芸高田)

- 1 長迫 吉拓 岡山
- 2 高橋 堅太 岡山
- 3 池田 大暉 新潟

雨でコンディションの悪く、全日本BMX選手権大会が広島県安芸高田・土師ダムのBMXコースで開催された。男子エリートは人数の関係で男子ジュニアと混走で行われたが、決勝では落車が続出した。スタート後、三瓶がリード、その後、第1バームで吉井と阪本が転倒。吉井は歩いてゴールに向かうが、阪本はしばらく動けない。第2バームでは三瓶と長迫が接触。三瓶は落車するが、長迫はなんとかすり抜ける。そしてそのまま長迫が優勝を決めた。

決勝、優勝の長迫は No.993



吉井と阪本の転倒



決勝、長迫と三瓶の接触



同時開催された STRIDER CUP

< JCF オフィシャル・スポンサー >



< オフィシャル・サプライヤー >



シクリスムエコー No.185 2011年11月号

発行/財団法人日本自転車競技連盟

発行人/富原忠夫

編集人/塚本芳大

編集事務局/財団法人日本自転車競技連盟事務局

〒107-0052 東京都港区赤坂 1-9-3 日本自転車会館内

TEL03-3582-3713 FAX03-5561-0508 <http://www.jcf.or.jp/>



この資料および〇〇の表示がある事業は、JKAから競輪収益の一部である公益事業資金の補助を受けたものです。
© (財)日本自転車競技連盟 2011 本紙掲載の写真、イラスト、ロゴマーク、ロゴタイプおよび記事の無断転載を禁じます。
※本誌「シクリスムエコー」定期購読をご希望の方は編集事務局までお問合せください。

＝シクリスムエコー読者のみなさまへ＝ 本誌についてのご意見、ご感想、ご要望等を編集事務局までお寄せください。